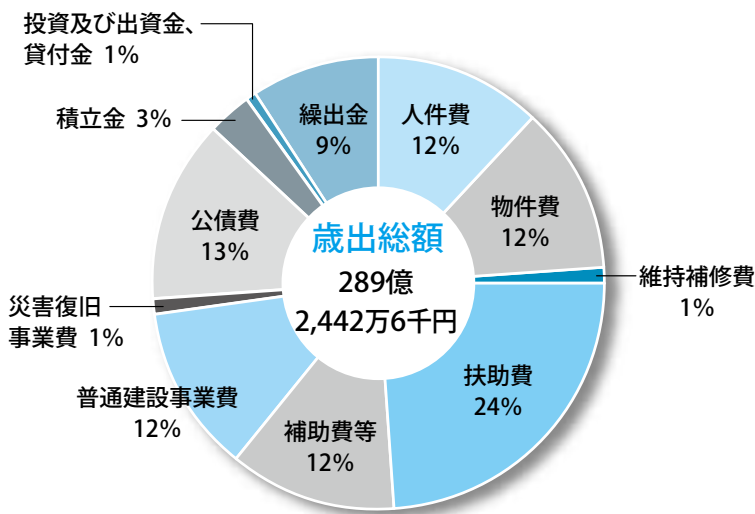
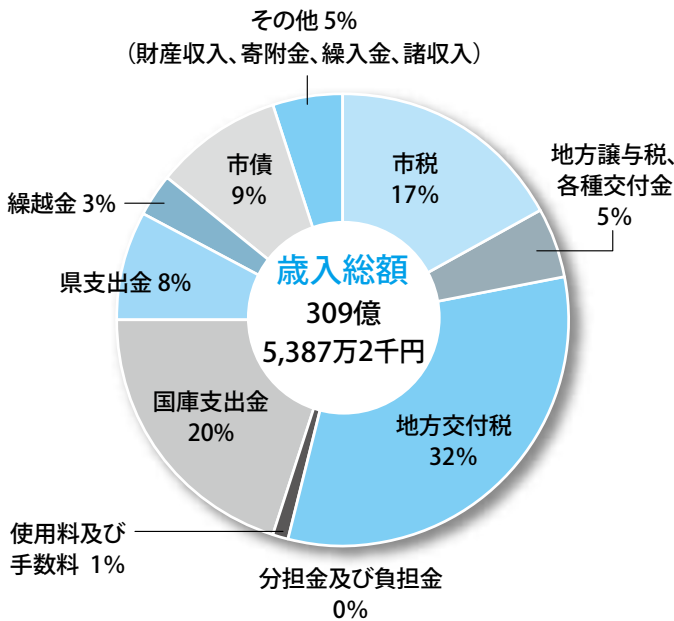


～令和3年度決算の状況～

一般会計



令和3年度一般会計決算額は、歳入総額309億5,387万2千円、歳出総額289億2,442万6千円、差し引き20億2,944万6千円の黒字となり、繰越事業の財源として翌年度に繰り越す財源(2億7,194万2千円)を控除した実質収支額は、17億5,750万4千円となりました。



[歳入] (単位：千円)

項目	決算額
市税	5,384,349
地方譲与税、各種交付金	1,694,880
地方交付税	9,858,509
分担金及び負担金	162,475
使用料及び手数料	320,601
国庫支出金	6,080,349
県支出金	2,392,949
財産収入	67,445
寄附金	206,191
繰入金	253,744
繰越金	787,933
諸収入	948,233
市債	2,796,214
合計	30,953,872

[歳出 性質別] (単位：千円)

項目	決算額
人件費	3,585,708
物件費	3,570,708
維持補修費	229,386
扶助費	6,850,031
補助費等	3,537,313
普通建設事業費	3,350,174
災害復旧事業費	185,092
公債費	3,794,672
積立金	914,163
投資及び出資金	157,920
貸付金	76,416
繰入金	2,672,843
合計	28,924,426

[歳出 目的別] (単位：千円)

項目	決算額
議会費	177,197
総務費	3,838,815
民生費	10,361,362
衛生費	2,600,809
労働費	3,240
農林水産業費	821,269
商工費	803,900
土木費	2,132,084
消防費	1,241,252
教育費	2,964,734
災害復旧費	185,092
公債費	3,794,672
合計	28,924,426

※決算統計上の区分(目的)の数値であり、決算書の区分(款)の数値とは異なります。

● 市民の皆さん 1 人当たりで見ると… (歳出目的別)

※人口44,619人(令和4年3月31日現在)で計算

議会費 3,971 円

議会の運営など



総務費 86,036 円

庁舎の管理、徴税、選挙など



民生費 232,219 円

高齢者福祉や障がい者福祉、生活保護、子育て支援など



衛生費 58,289 円

医療対策、病気の予防、ごみ処理など



農林水産業費 18,406 円

農業や林業、漁業の振興など



商工費 18,017 円

商業や工業、観光の振興、企業誘致など



土木費 47,784 円

道路や河川、公園、住宅の整備・管理など



消防費 27,819 円

消火活動、救急救命など



教育費 66,446 円

小中学校、公民館の運営、文化財の保護、生涯学習など



公債費 85,046 円

借金の返済



その他 4,221 円

雇用対策や災害など



◆ 市民 1 人当たりの歳入額 69万3,737円

うち市民税(個人) 41,851 円

うち固定資産税 58,916 円

◆ 市民 1 人当たりの歳出額 64万8,254円



令和3年度決算に係る財政指標は次のとおりです

健全化判断比率

◆ 実質赤字比率 <->

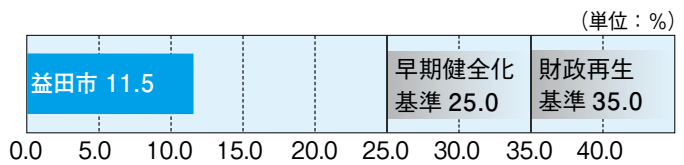
福祉、教育やまちづくり等を行う益田市の一般会計等の収支が、赤字か黒字かを見るための指標です。益田市は赤字でないため、算定比率は表示されません。

◆ 連結実質赤字比率 <->

一般会計、特別会計の全会計を合算した指標で、赤字か黒字かを判断します。益田市は赤字でないため、算定比率は表示されません。

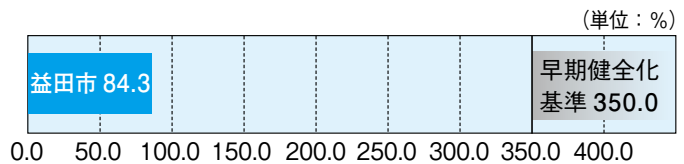
◆ 実質公債費比率 << 11.5% >>

歳出の中で、過去に行なった借入金の返済額およびこれに準ずるものの大きさを見るための指標です。



◆ 将来負担比率 << 84.3% >>

一般会計等が将来的に負担する必要があるもの(地方債の現在高や退職手当負担見込額、第三セクターに対する負担見込額等)が、後年度財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。



※健全化判断比率のうち、いずれか1つでも早期健全化基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定する必要があります。

資金不足比率

地方公共団体が設置する公営企業に係る特別会計ごとの資金不足額を算定し、公営企業の資金不足額を公営企業の料金収入等の規模で示される事業規模と比較して、経営状況の深刻度を示すものです。

※資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画を策定する必要があります。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
土地区画整理事業特別会計	—	

《資金不足が生じていないため、比率は表示されません》

【問い合わせ先】 市財政課 ☎ 31-0604

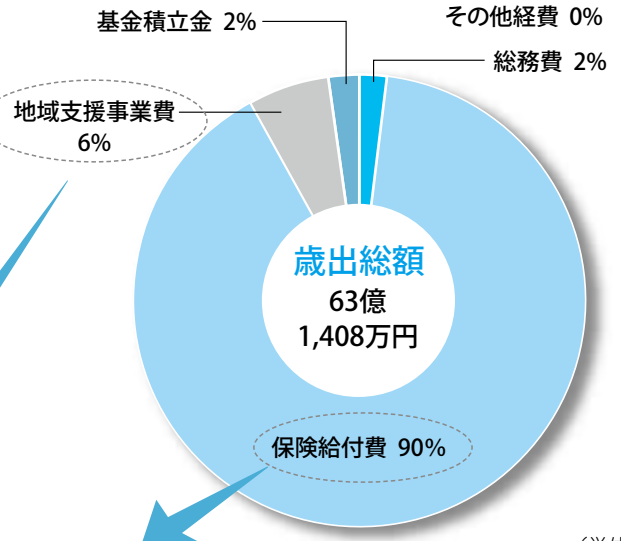
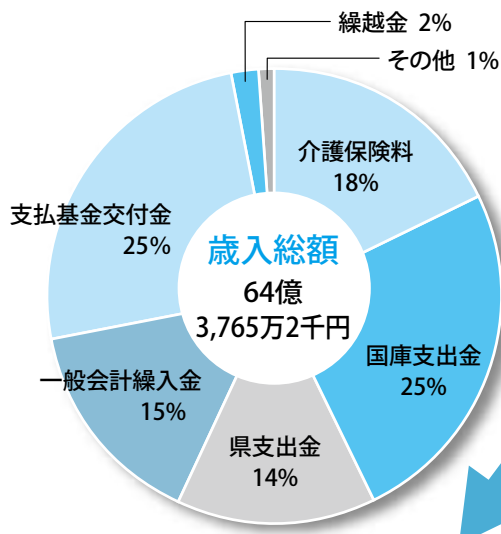
介護保険特別会計

介護保険特別会計の決算の状況は以下のとおりです。

歳入額 64億3,765万2千円
歳出額 63億1,408万円

これは交付金等の返還、基金の積立に充てます

歳入と歳出の差額 1億2,357万2千円 は令和4年度に繰り越しました。



(単位：千円)

(単位：千円)

項目	令和3年度	令和2年度
介護予防・生活支援サービス事業費	160,219	158,146
一般介護予防事業費	20,685	21,560
包括的支援事業費	174,570	167,229
総合相談事業費	111,861	108,556
権利擁護事業費	82	233
包括的マネジメント事業費	127	53
任意事業費	27,252	25,616
在宅医療・介護連携推進事業費	6,548	6,674
生活支援体制整備事業費	24,116	21,462
認知症総合支援事業費	4,584	4,635
高額介護予防サービス費相当事業等費	793	764
その他諸費	812	809

項目	令和3年度	令和2年度
居宅サービス費	1,941,292	1,927,563
地域密着型介護サービス費	1,283,570	1,201,716
施設サービス費	1,872,274	1,893,673
福祉用具購入費	8,356	8,109
住宅改修費	23,744	24,394
サービス計画費	218,064	208,371
高額サービス費	130,528	131,524
高額医療合算サービス費	19,382	18,786
特定入所者介護サービス費	169,535	199,679
審査支払手数料	6,405	6,195

★歳入（収入）

介護保険特別会計の主な歳入は、保険料、支払基金交付金、国・県の支出金、益田市一般会計からの繰入金などで占めています。介護サービスの給付を行うために必要な財源は、保険料や国・県・市の負担となります。また、介護保険事業に必要な事務費や人件費などの大部分は市の負担となります。

介護保険料：65歳以上の1号被保険者保険料のことです。

支払基金交付金：40歳から64歳までの2号被保険者保険料のことです。

【問い合わせ先】市高齢者福祉課 ☎ 31-0682

後期高齢者医療特別会計

歳入と歳出の差額 1,281万8千円は令和4年度に繰り越しました。これは後期高齢者医療広域連合保険料等納付金等の財源となります。

【問い合わせ先】

市保険課 ☎ 31-0215 FAX 24-0180

★歳出（支出）

保険給付費：要支援・要介護認定を受けてサービスを利用した時に、保険で負担する9割から7割のサービス費と、それらをサービス提供事業者などに支払うために必要な審査支払手数料のことです。

地域支援事業費：高齢者が「要支援・要介護状態」になることを予防し、また、住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援する事業です。

「地域包括支援センター」は、高齢者の介護や福祉、医療、そして権利などをを守るため、生活のあらゆる面からサポートする相談機関です。お気軽にご相談ください。

(単位：千円)

歳入		歳出	
後期高齢者医療保険料	553,664	総務費	25,520
繰入金	946,168	広域連合納付金	1,476,155
その他	44,791	その他	30,130
合計	1,544,623	合計	1,531,805

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計（事業勘定・診療施設勘定）の決算の状況をお知らせします。

事業勘定

歳入額 52億8,092万円
歳出額 52億6,846万2千円

歳入と歳出の差額 1,245万8千円 は令和4年度に繰り越しました。

※事業勘定は、医療給付、特定健康診査、人間ドックなどの事業を実施するための予算です。歳出における保険給付費とは、被保険者が医療機関を受診した際の費用のうちの保険者負担金（7～8割部分）です。

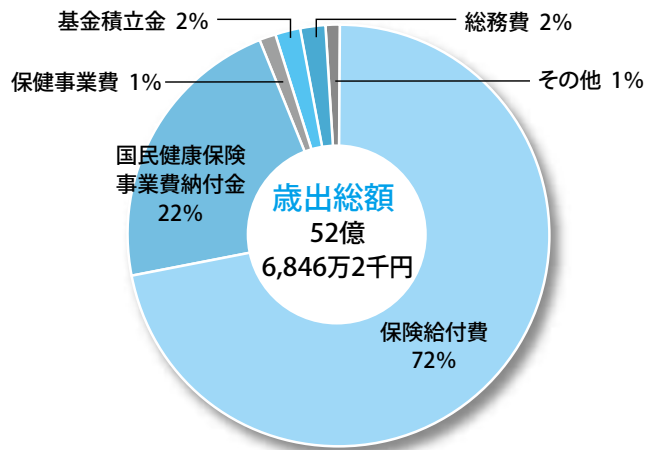
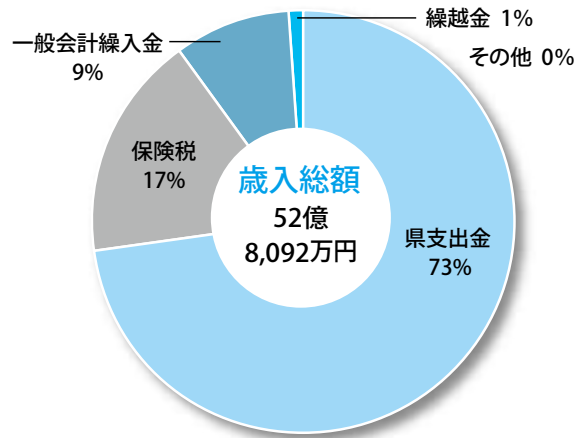
[歳入] (単位:千円)

区分	決算額
県支出金	3,877,926
保険税	883,112
一般会計繰入金	458,819
繰越金	40,890
その他	20,173
合計	5,280,920

[歳出] (単位:千円)

区分	決算額
保険給付費	3,762,564
国民健康保険事業費納付金	1,162,149
保健事業費	66,836
基金積立金	119,609
総務費	83,954
その他	73,350
合計	5,268,462

差引	12,458
----	--------



被保険者数と1人当たり年間医療費

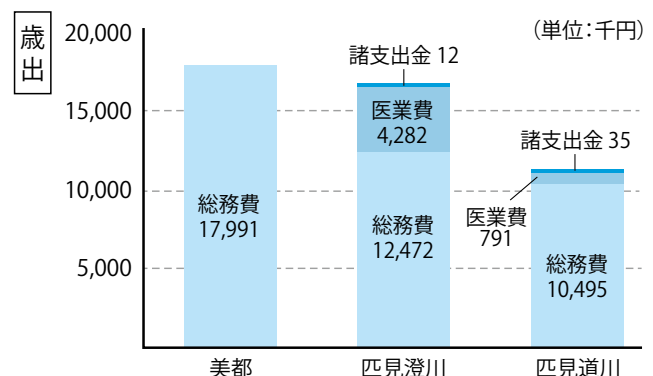
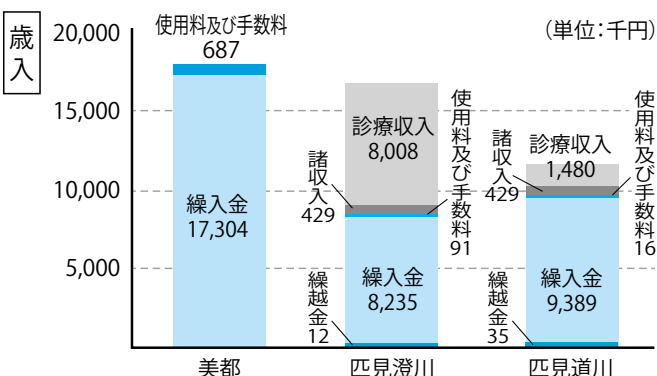
	国保	令和2年度	令和3年度	伸び率(%)
益田市	被保険者数(人)	9,472	9,350	▲ 1.29
	1人当たり医療費(円)	453,682	461,052	1.62

	国保	令和2年度	令和3年度	伸び率(%)
県内市町村計	被保険者数(人)	126,652	125,170	▲ 1.17
	1人当たり医療費(円)	465,507	483,338	3.83

※被保険者数は年間平均です。医療費は各年度の前年度3月から当該年度2月までの診療分で島根県国保連合会の速報値です。

診療施設勘定

医療の受診機会に恵まれない地域に国民健康保険診療施設を開設しています。診療施設勘定は、診療施設の運営や整備のための予算です。歳入歳出差引は、美都診療施設 0円、匹見澄川診療施設 9千円、匹見道川診療施設 2万8千円となりました。



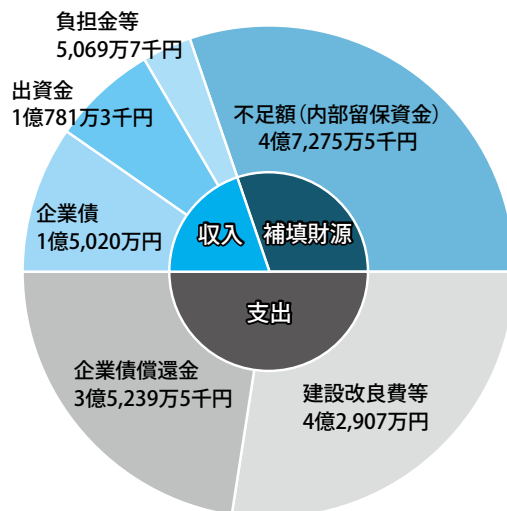
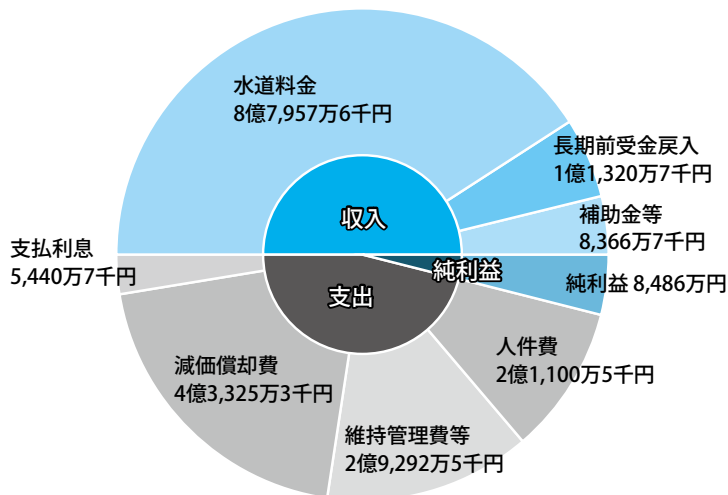
益田市水道事業会計（地方公営企業法適用事業）

収益的収支（税抜）

収入 10億7,645万円
 支出 9億9,159万円
 純利益 8,486万円

資本的収支（税込）

収入 3億 871万円
 支出 7億8,146万5千円
 差引 △4億7,275万5千円



業務量の概要

項目	令和3年度	対前年度比
期末給水人口	42,877人	99.0%
年間配水量(①)	6,670,256m³	99.4%
年間有収水量(②)	5,040,203m³	97.9%
有収率②/①×100	75.6%	1.1ポイント減

- ・収益的収支… 水道事業を運営するために要した経費と財源
- ・資本的収支… 水道施設を造るために要した経費と財源

主な建設改良工事

工事名	金額(税込)
高津水源地非常用自家発電機設置工事	52,602千円
市道喜阿弥西小浜線配水管改良工事	36,212千円

【問い合わせ先】市上下水道部業務課 ☎ 31-0421

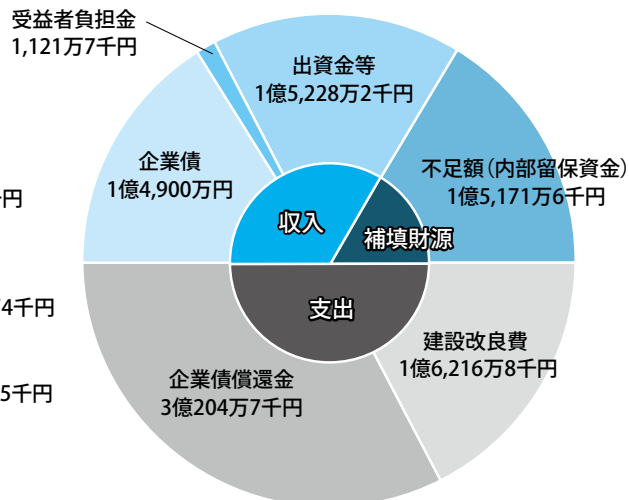
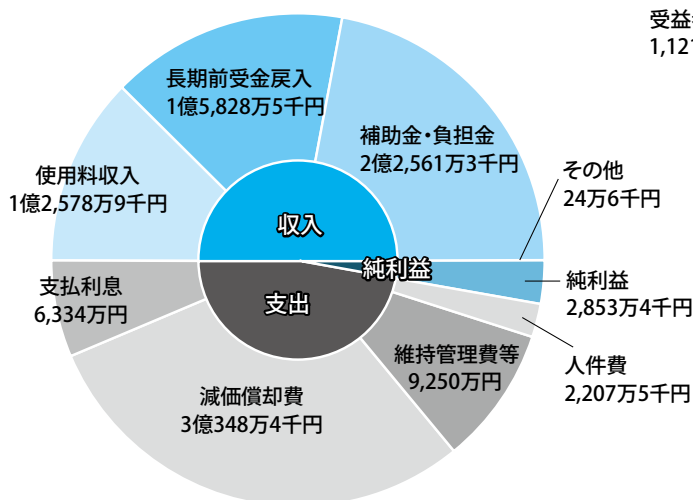
益田市下水道事業会計（地方公営企業法適用事業）

収益的収支（税抜）

収入 5億 993万3千円
 支出 4億8,139万9千円
 純利益 2,853万4千円

資本的収支（税込）

収入 3億1,249万9千円
 支出 4億6,421万5千円
 差引 △1億5,171万6千円



業務量の概要

項目	令和3年度	対前年度比
期末接続人口	4,761人	101.5%
下水道普及率	14.4%	0.27ポイント増
年間有収水量	539,046m³	100.9%
1日平均処理水量	1,476m³	100.9%

- ・収益的収支… 下水道事業を運営するために要した経費と財源
- ・資本的収支… 下水道施設を造るために要した経費と財源

主な建設改良工事

工事名	金額(税込)
公共下水道駅南工区汚水幹線工事（その4）	49,786千円
農業集落排水施設計画概要書作成業務委託	5,815千円

【問い合わせ先】市上下水道部下水道課 ☎ 31-0323